

寒くなったり、夏日になったり、体調を崩しやすい天候が続いています。10月10日は晴れの特異日のはずですが、雨がちでした。ただ、これを読んでくれている方は若くて元気な人が中心でしょうから心配はないかもしれません。

さて、その3連休前に3年ぶりのリアル国立病院総合医学会が熊本で開催されました。私はとんぼ返りだったので、市内は路面電車から見ただけでした。熊本城くらいは見ておけばよかったかしら。

一般の学会とは異なり、全国の国立病院から多くの職種の人が一堂に会して発表します。今回は5000名程の参加があったようです。内容は、日頃馴染のない検査科の工夫や事務の業務改善策など、分野は多岐に渡りますので、なかなか勉強になります。逆に馴染のない分野なので、厳しい突っ込みなどもなく、少し余裕をもった発表ができるので、学会デビューにはぴったりです。

当院からは6名の研修医の先生が発表に臨んでくれましたが、なんとそのうち3名がセッションのベストプレゼンテーション賞を取りました。当院の指導体制の厚さが実ったと考えています…いえいえ、優秀な研修医諸君の努力の賜物でしょう。

副賞にくまモンのボトルがもらえたみたいです。トロフィーみたいでかっこいいですね。1年目の先生も発表していますから、当院で研修なら挑戦してみますか？



救急科研修中の症例を発表しました。副院長と記念撮影